

住 住吉大社にはかつて、大阪湾から続く表参道がありました。その表参道は一部が住吉公園として形を変えて残されています。ただ、道路による分断や建造物の高層化、表参道の面影は少しずつ失われています。

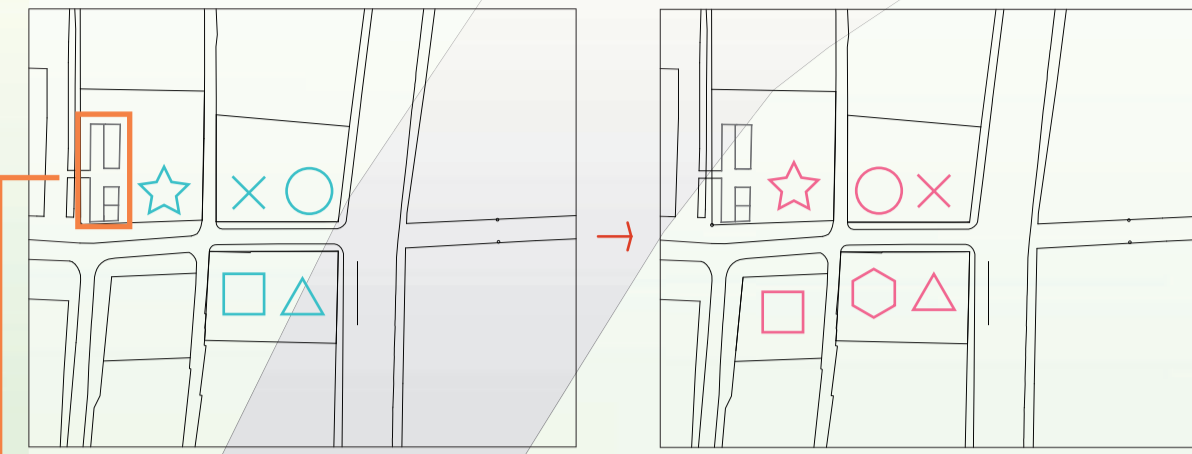
前表参道は今も多くの人々が利用し、賑わっています。前表参道の両側を2階建て店舗兼住宅が並んでおり、参拝者を迎えています。この建物たちは高層化する街並みに反して安心感を与えてくれます。この建物たちは老朽化が進んでおり、店の経営者の高齢化も進んでいます。

今回提案する2階建ての店舗兼住宅が、この問題の根本にある表参道の風化と店舗経営者の高齢化を解決しましょう！

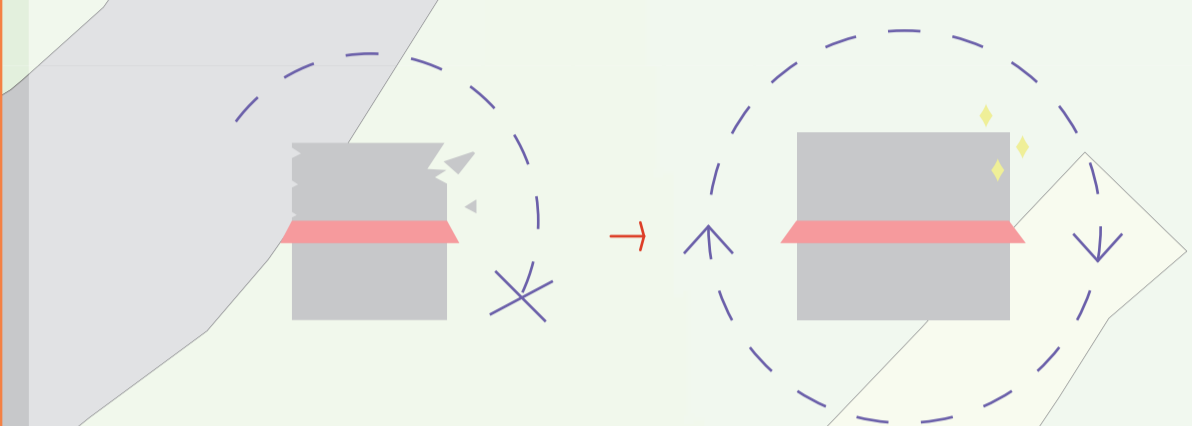
計画敷地 大阪府大阪市住吉区長狭町



二階建ての店舗兼住宅



表参道を忘れさせないためには、前表参道に並ぶ住宅兼店舗がこれからも継続していく必要がある。既存する二階建ての店舗の要素を受け継ぎ、新たな二階建ての店舗を建てる。敷地内の既存する店舗は、この敷地で店舗に合うように再配置して経営を続ける。



建物が新しくなれば、世代交代のタイミングで建物を若い世代が引き継ぎ、建物の中でサイクルができる。

かつて住吉を賑わせた阪堺上町線の旧駅舎は、現在は店舗が入っており住吉の人々に愛されている。この建物は建て替えずに利用していきたい。

表参道の軌跡

~江戸時代	明治	大正	昭和	平成	令和	現在~
<p>住吉大社</p>	<p>南海本線</p>	<p>住吉公園</p>				
<p>江戸時代には表参道と松の木があり、大阪湾の側の灯台まで表参道が続いていました。</p>	<p>南海鉄道が開通し、表参道が縮断されました。灯台が東へ再建され、表参道が舗装され、住宅が増えました。</p>	<p>今から150年前、住吉公園が誕生しました。国道26号線も通り、住宅も増え、整備されました。</p>	<p>住吉大社と住吉公園は明確に区別され、南海本線は高架になっています。この地域は住宅街となり、賑わっています。表参道は神社から鳥居までとなりました。</p>	<p>表参道が風化しないようにするために...</p>		



住吉公園の前表参道のイメージ。木のアーチが道に沿って続く。

表参道は続いてゆく ...

住吉大社にはかつて、大阪湾から続く表参道があった。表参道の面影は時代を経ても、形を変えながら続いてゆく ...

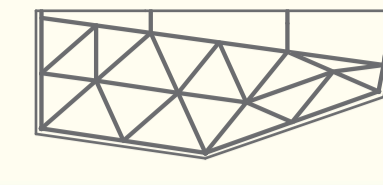




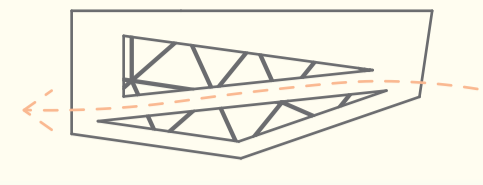
屋根形状



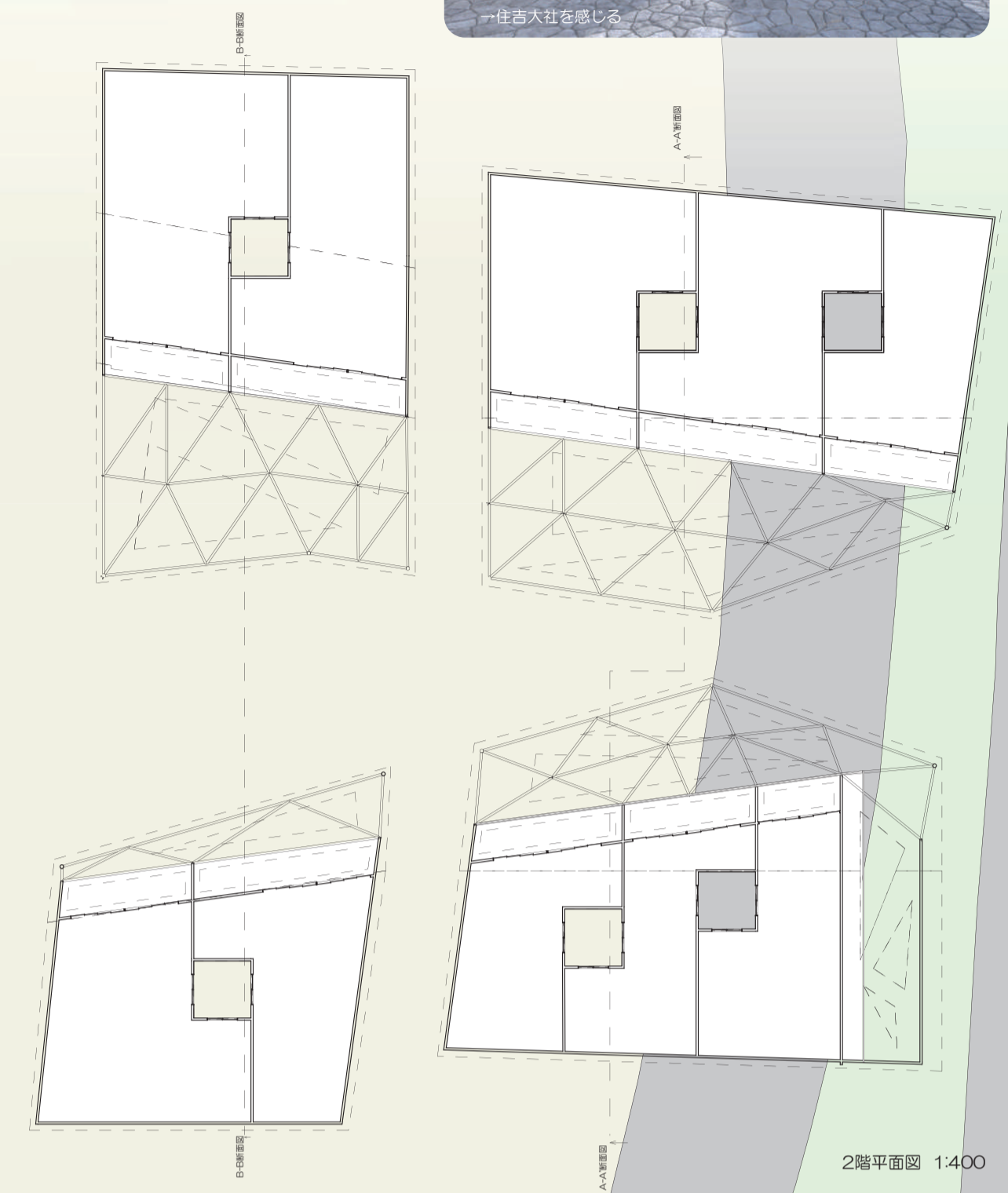
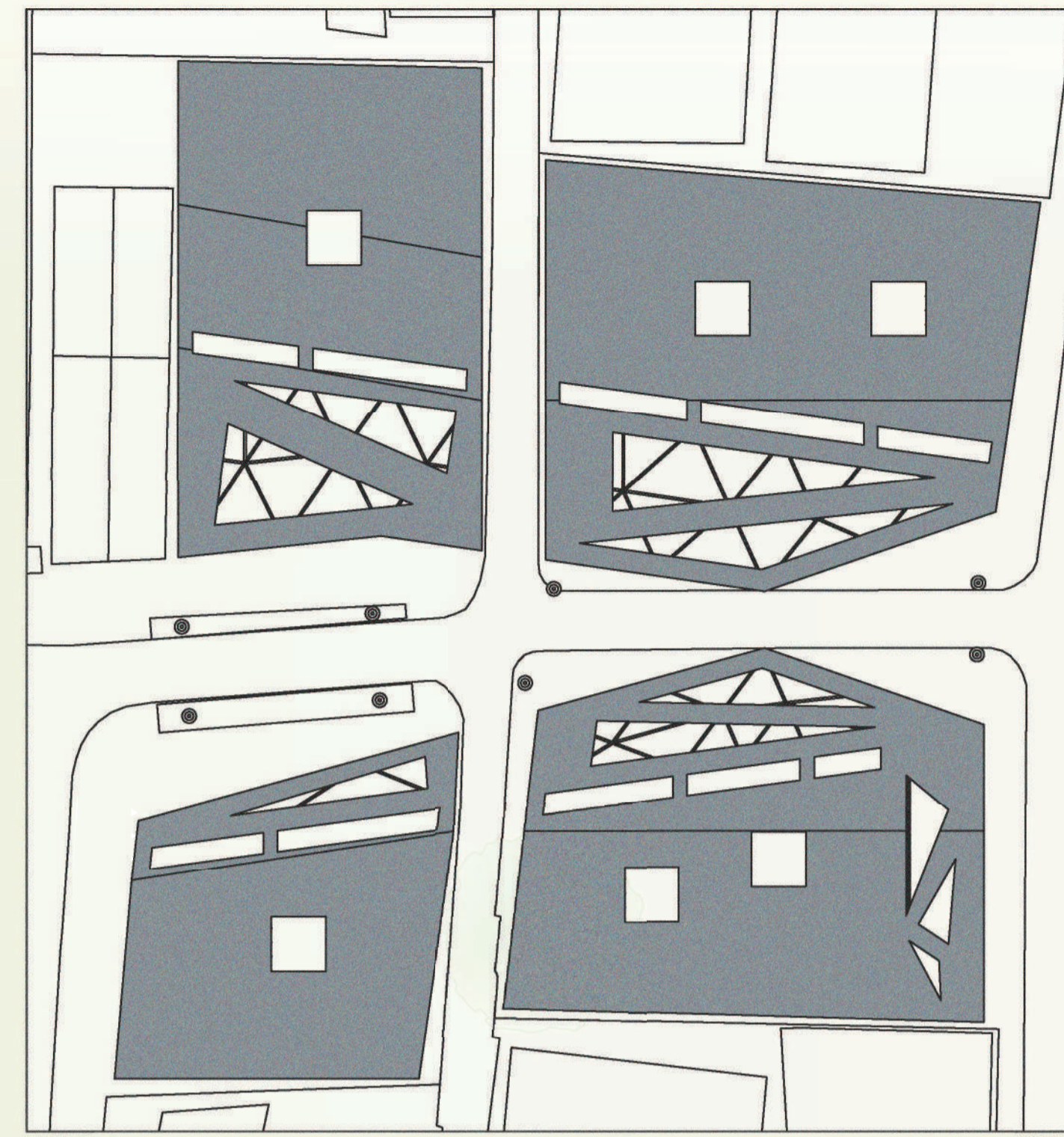
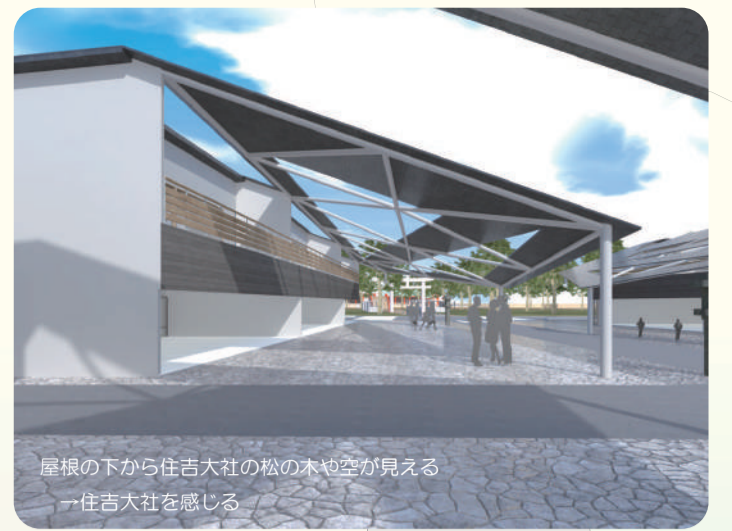
重厚感が無くなるように角を鋭角に



屋根を支える構造をトラスに

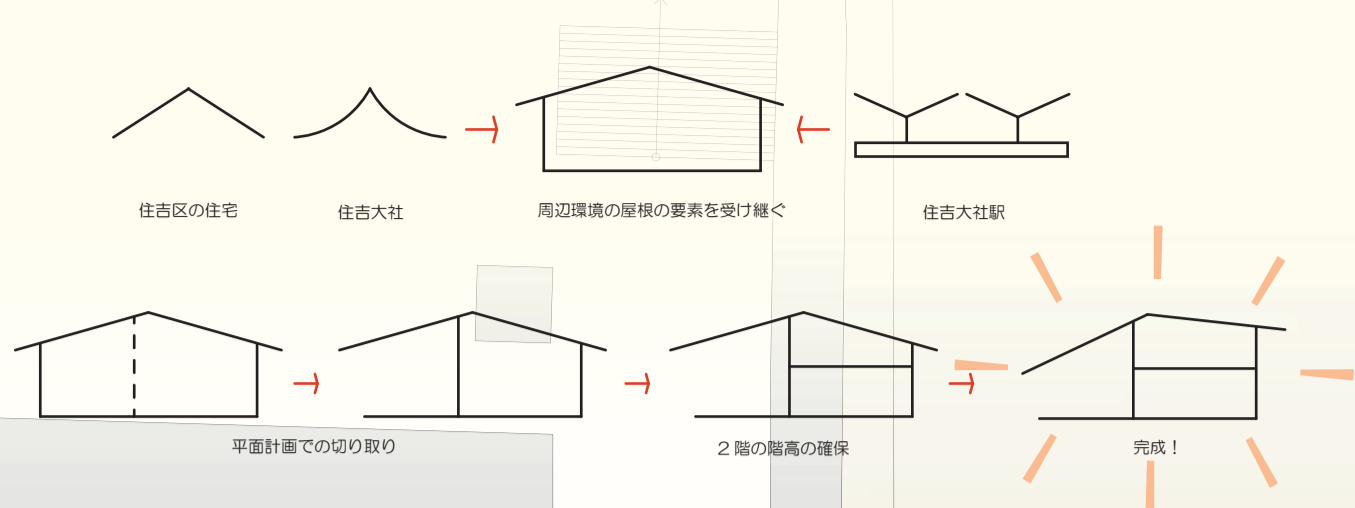


雨天時に人の動線ができるような形で空取

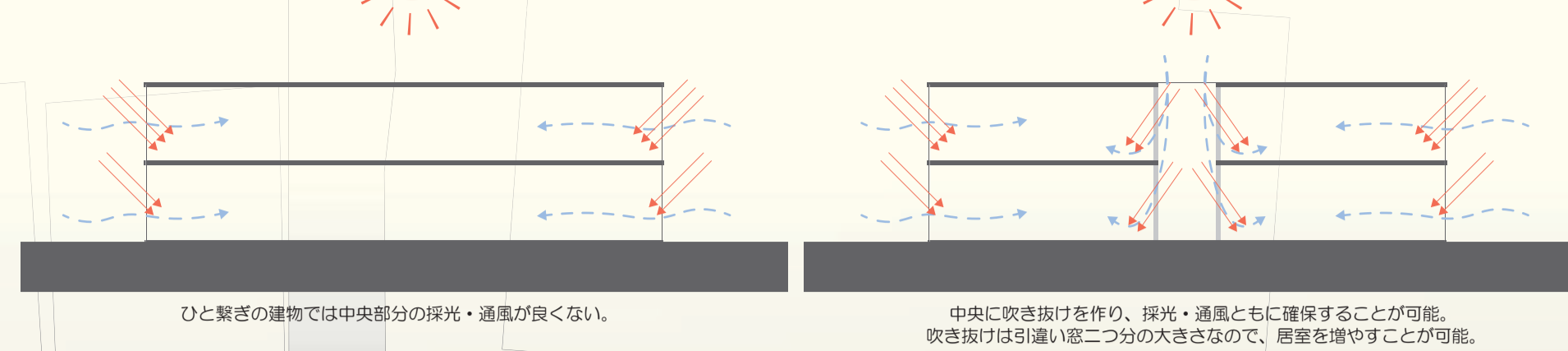


右側の道が続く

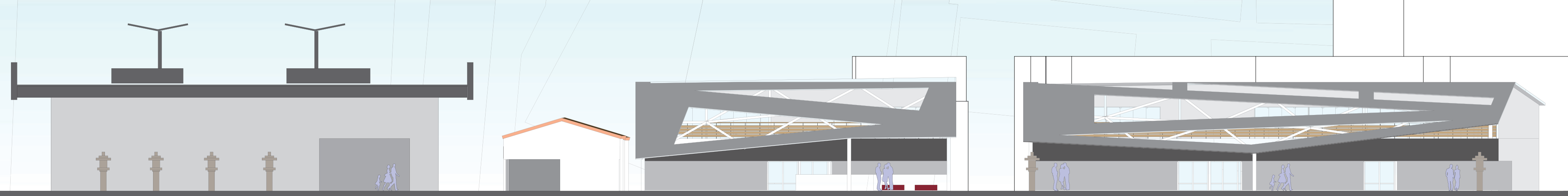
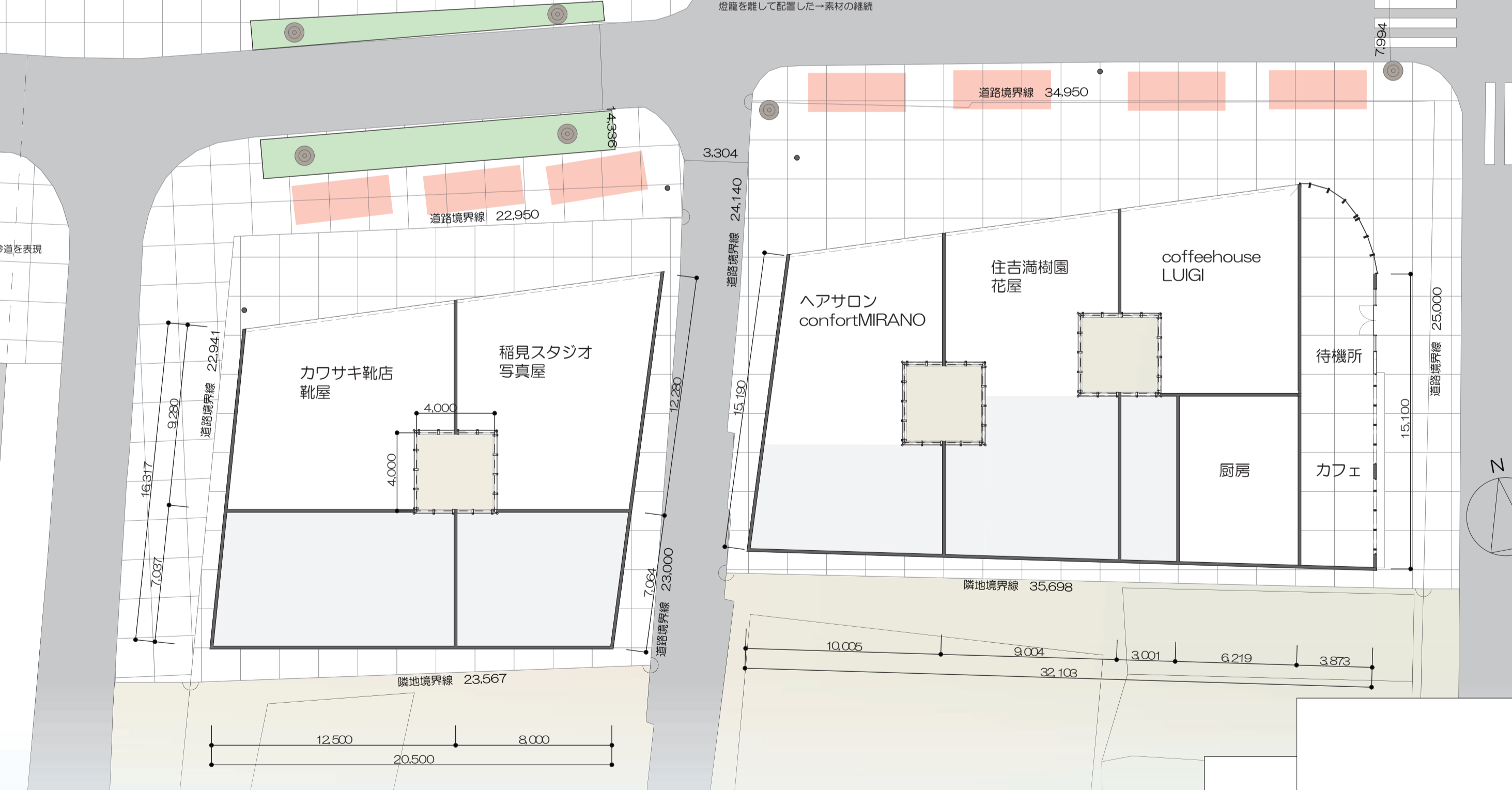
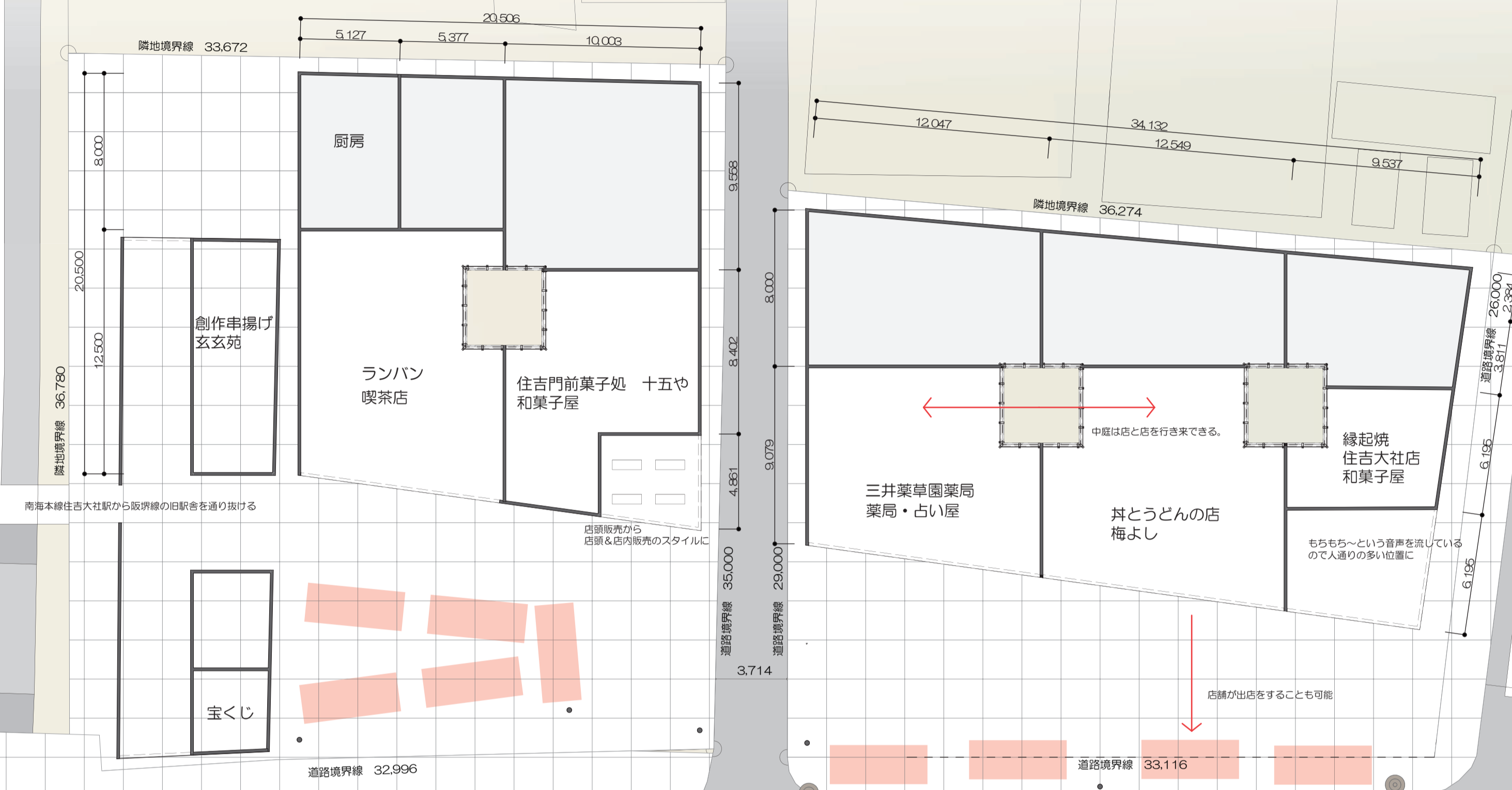
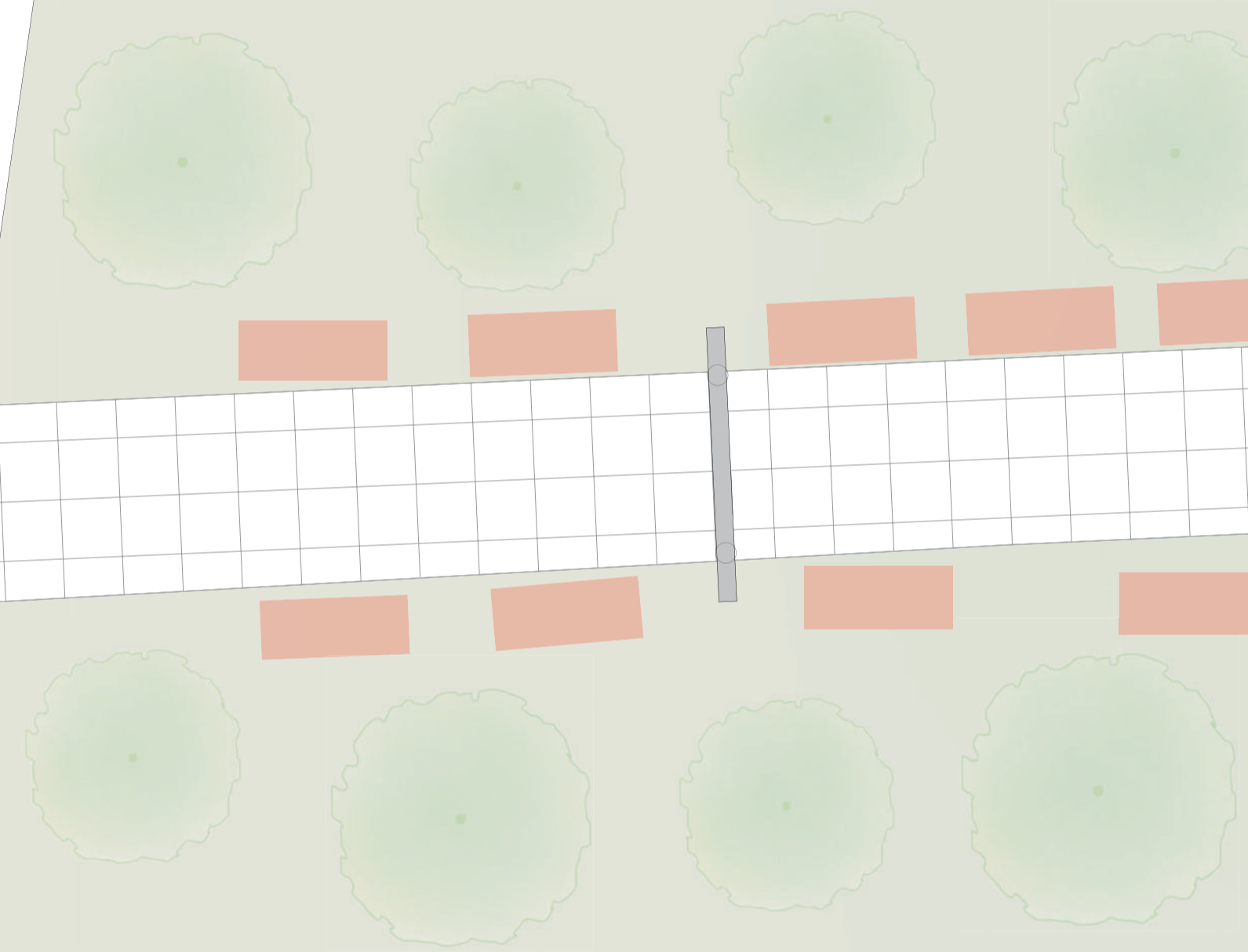
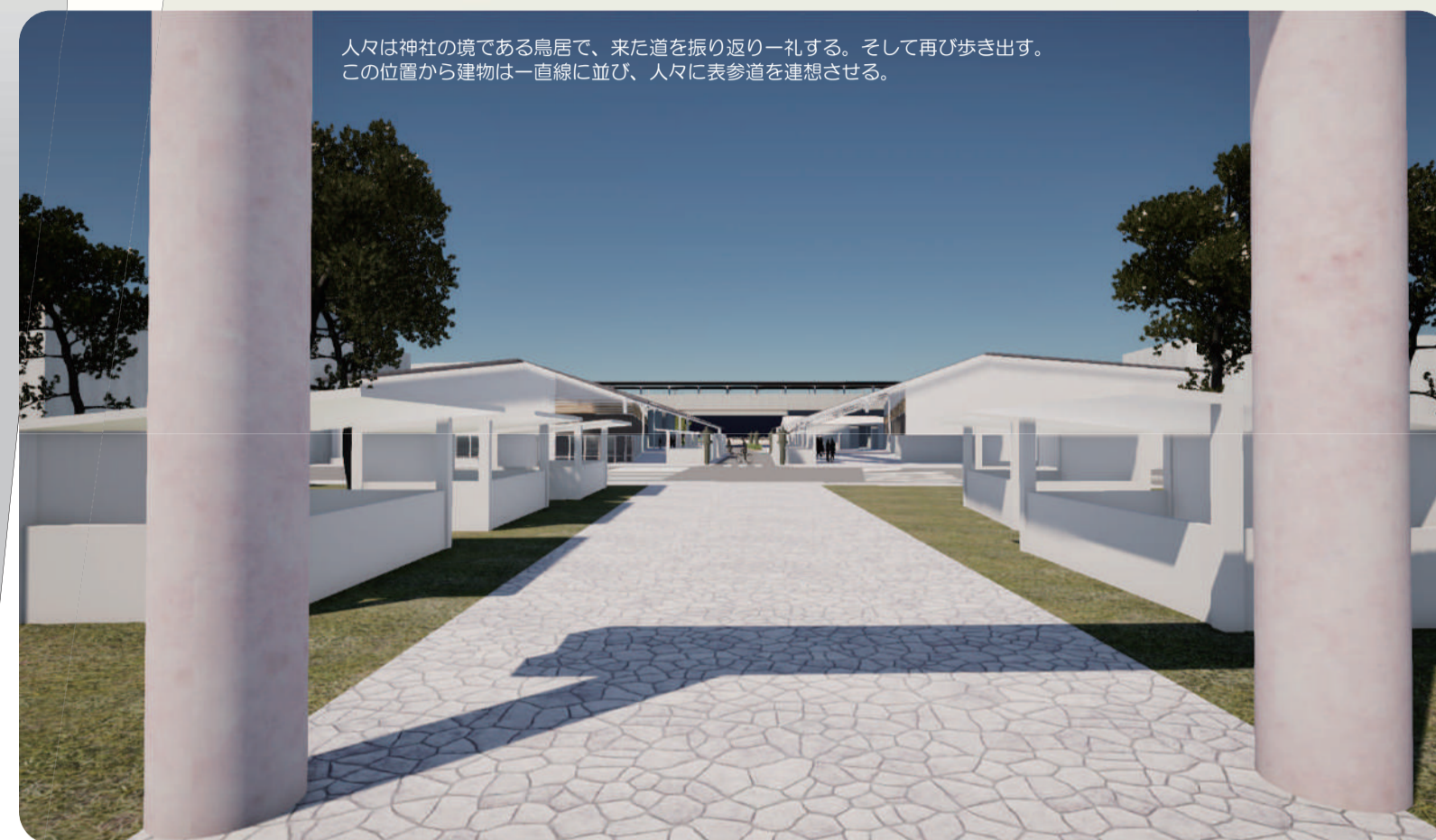
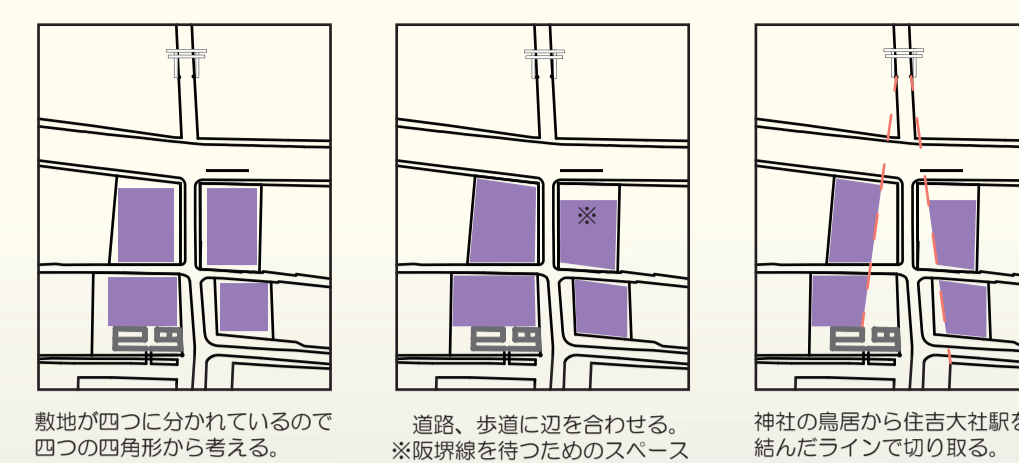
屋根・断面計画

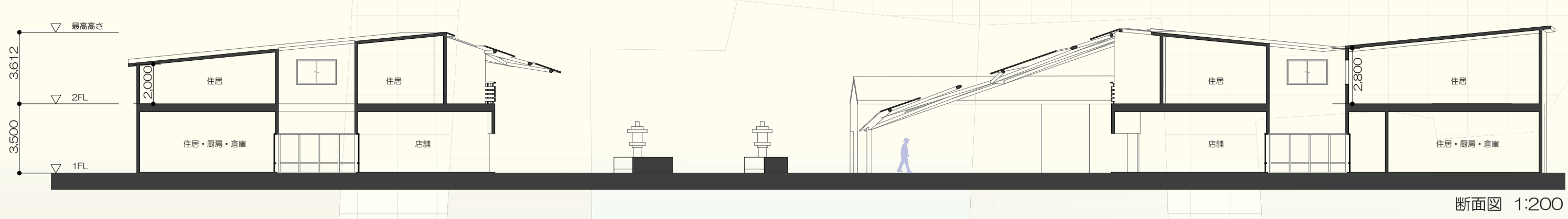


断面計画

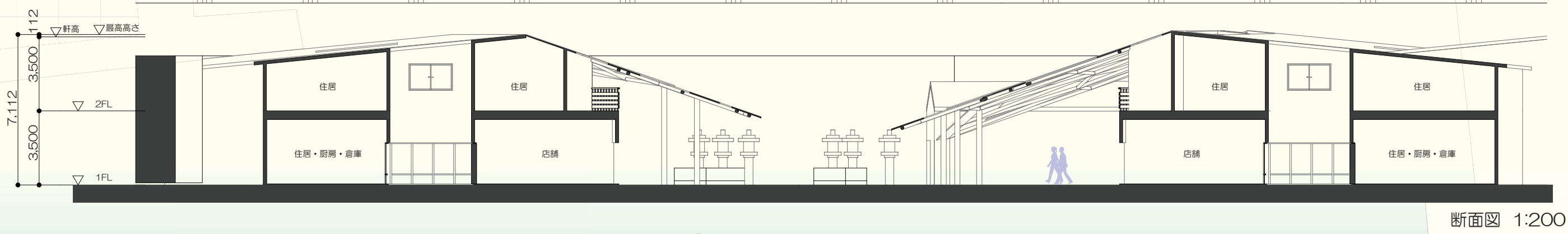


平面計画

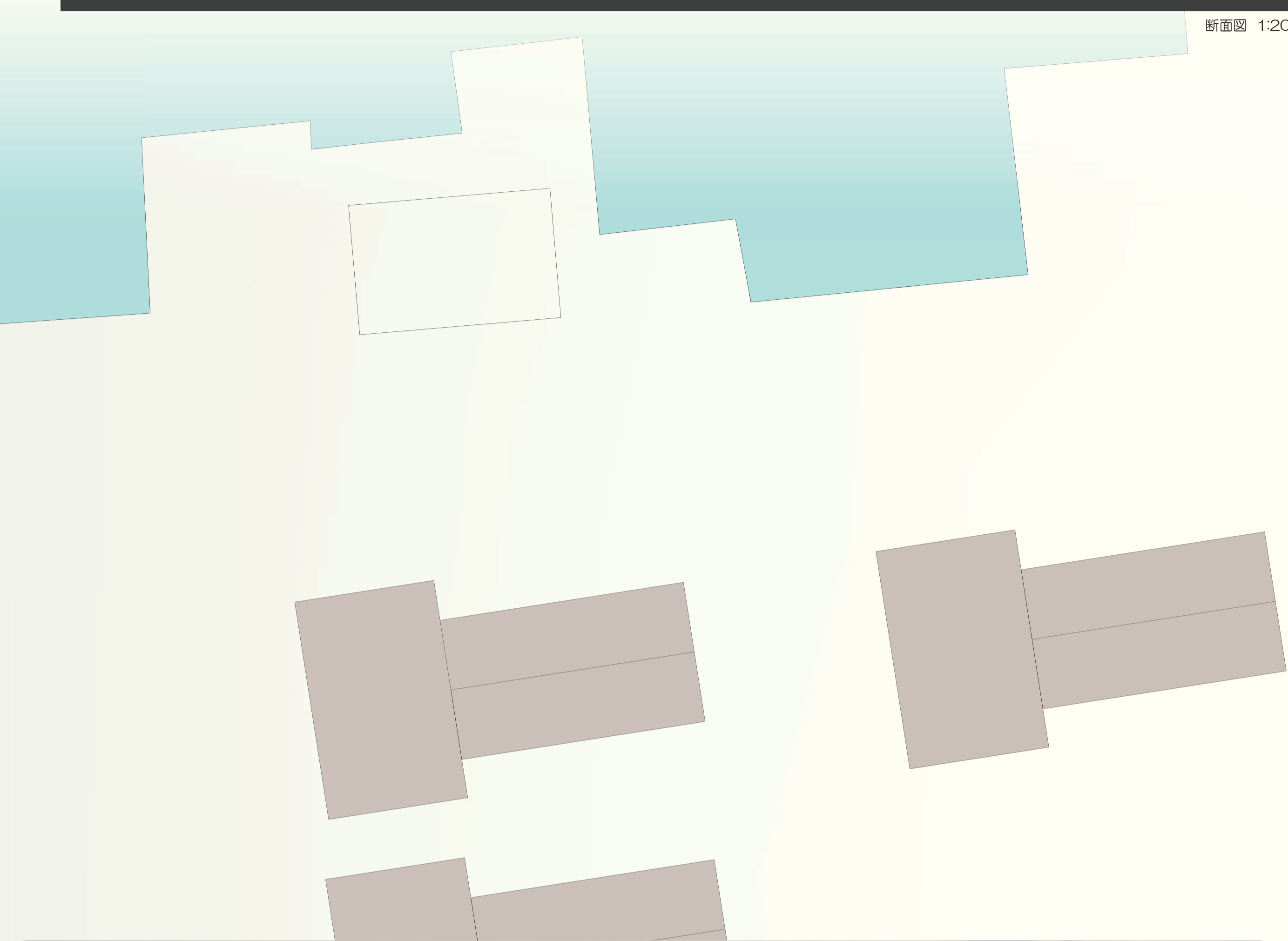
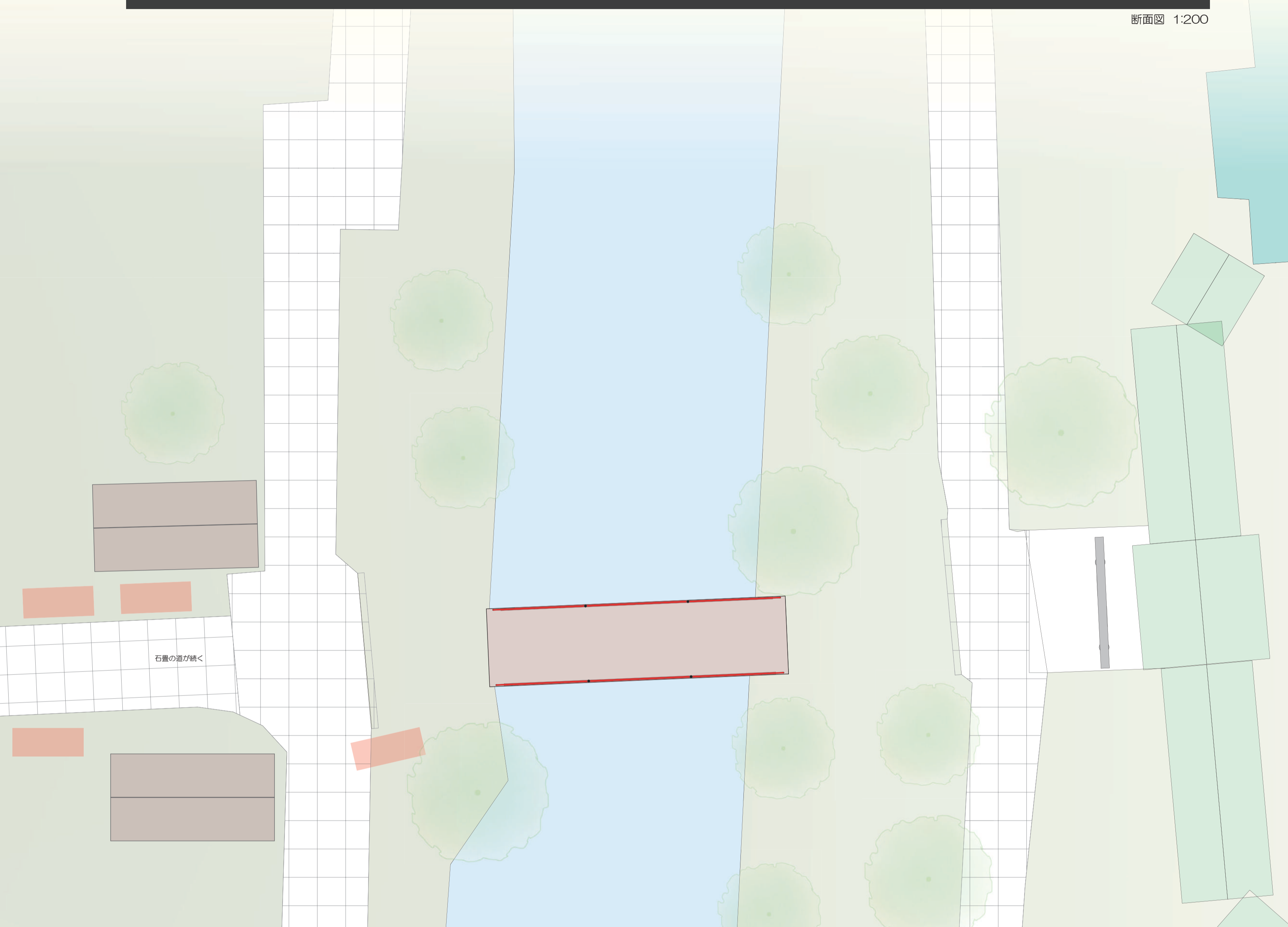




断面図 1:200



断面図 1:200



雰囲気を持させる

住吉大社の行事・年末年始・夏祭りの際は住吉大社の表参道に原台が並び、原台は道路で止まってしまい、原台の雰囲気は途切れてしまう。

原台を住吉公園まで設置できるようにし、原台の雰囲気力を使って表参道を住吉公園まで続かせる。

